

ばらんす

第45号

編集発行

大田原市総合政策部
政策推進課 市民協働係
〒324-8641
大田原市本町1丁目4番1号
☎ 0287-23-8715
FAX 0287-23-8748

輝

シリーズ

「正直・思いやり」

(チューリップの花言葉)

大田原市更生保護女性会



〈目的〉 犯罪や非行のない明るい
地位社会の実現に寄与する。

〈会員数〉 76名

〈歴史〉 昭和31年設立
今年62年目

そのほかの活動として、放課後子ども教室、黒羽刑務所矯正展、保護司会との連携、また、地域との連携として、福祉ふれあいまつり、産業文化祭参加など行っています。

昭和24年に更生保護制度が発足したことに伴い、全国に、県単位・地方単位での組織化が進み、大田原市更生保護女性会は、昭和31年に組織され、今年で62年目になります。

佐藤育子会長を中心として、現在76名の会員が「次世代の若者が非行や犯罪に関わることなく歩んでいってほしい」という願いを込めて活動されています。

(藤沼)



毎月定例会後のチューリップ作りをしています

会員のことば

「チューリップの花言葉のように思いやりをもってこれからの人生を歩んでいきたい」等、子供たちからのお礼の手紙に励まされます。

いろんなサークルで活動していますが、更生保護女性会の活動は次世代を生きる子供たちにより影響を与えていると思うので重要な活動だと考えています。



立志式を迎える中学生にお届けします



2017 ~フィンランド女性の生き方を探る旅~ 男女共同参画スタディツアーに参加して

(とちぎつばさの会主催)

期 間 / 平成29年10月10日 ~ 16日 (7日間)

男女共同参画社会の実現と女性の地位向上に資するため、世界で最も安定した国・世界のために貢献する国・母親に優しい国・男女平等ランキング・学力ランキングなど、さまざまな指標で世界トップレベルであるフィンランドに赴き、フィンランドの女性や男性の生き方やさまざまな制度を学ぶツアー。本市から2名の方が参加しました。

念願叶えた海外研修

菊池 恵子

北欧フィンランドの研修にチャレンジしました。仲間15人と一緒にでしたが、私のように初めての方もいてほっとしました。

日本の世界ジェンダーギャップ指数は114位ですが、フィンランドは3位で、とても男女平等が進んでいる国です。何をどのように考えている国なのか関心を持ちました。

首都ヘルシンキ市とエスポー市の研修で関心があったことは、幼児教育から大学までの授業料が無料、小学校の先生の質は非常に高いことです。また、ネウボラ制度(妊娠から就学前までの子どもをもつ家庭への切れ目のない子育て支援)による育児やDV問題などの相談所の見学や、介護施設の見学、男性市議会議員のお話など参考にしたい話がいっぱいでした。

ヘルシンキ市議会議員85名の半数は女性だそうです。これからの時代は女性が大事な役割となります。私の身近な地域でも女性の議員を同数位にして、何か発想転換してほしいと思いました。



カッリオ教会にて
(左:山木さん、右:菊池さん)

フィンランド研修は自立への旅

山木 つる

縁があつて、スタディツアーに参加することができました。

フィンランド行きの機内、骨格のがつりとしたCAさんが多く驚きました。「美しさよりも仕事ができる頼りになる方が優先なのかしら」と仲間のコメント。フィンランドへの期待が膨らみます。

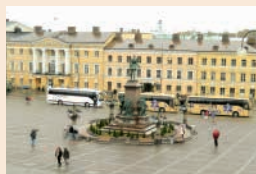
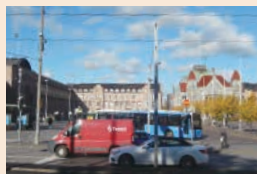
フィンランドでは、国を挙げて男女平等を呼びかけていました。ファッシュヨンプランド「マリメッコ」では平等を意味する「ボーター」柄を洋服に施しています。学校では、優秀な教員のもと、子ども目線での教育が実施されています。タバコは自宅のベランダでも吸えないほどの厳しい規制があります。フィンランドは男女平等が進んでいる国ではありますが、深く根付いた男女の役割に対する考え方を



世界自然保護基金にて



スールヴェルトデイケアセンター
(幼児教育)にて



フィンランドの街並み

を改めることの難しさ、アルコール依存によるDV、移民の文化による正当化された子への暴力、女性の政策に対する意見や考えに対して強い反響があるなど、男女平等が進んでいるからこそ生じる問題もあるようです。研修中、毎日朝から夕方までメモを取り、質問をし、そして研修内容をみんなで一冊の本にまとめました。みんなの頑張りもあり、大変意義のある研修となりました。

● 男女共同参画社会を考える

とちぎ 県民のつどい

日程：平成30年6月23日

参加者：350人
うち大田原市から22名

場所：パルティとちぎ 男女共同参画センター

講演 『自立して生きるとは？女性として監督として』

講師 映画監督 松井 久子さん

少女時代の松井さん、良き妻・良き母を夢見る普通の少女でした。25歳で結婚、27歳で出産。夫の退職後、暴力が始まり、5年経ってもDVは収まらず30代半ばで離婚。子供との生活のため俳優プロダクションを起業、その後、テレビドラマ制作会社を立ち上げ、50歳で映画監督に挑戦。男には作れない、女性の立場を考えた自分が出来なかった・叶わなかった夢の家庭、それを今の日本が抱える課題を含め映像で表現しています。

講演前に松井監督の映画【折り梅】を鑑賞しました。年老いた義母を引き取って同居した家族、やがて義母がアルツハイマー型認知症になり家庭崩壊の危機に。介護施設に預ける選択肢もありましたが、息子の嫁(主役)は違いました。義母のいけない所・悪い所ではなく、得意なこと・楽しく出来ることを見つけ、一緒に過ごしています。会場は感激の涙と拍手でいっぱいでした。

講演会を通じて女性の自立、何事にも挑戦の心を感じました。(荒牧)

● 大田原市女性団体連絡協議会主催

一人ひとりが輝く大田原のつどい ～自分らしく輝いて生きるために～

日程：平成30年8月25日

場所：那須与一伝承館
多目的ホール

ふるさとへの想いと願い なすびなりの応援の形

講師 なすび氏 福島県の出身(タレント・俳優)

地域支援・応援の方法・手法について、一人ひとりにやれることは違いがある。日テレのバラエティー番組「電波少年的懸賞生活」で1年3か月間、大変な苦労と孤独感を経験したなすびさんは、東日本大震災で被災した福島(と東北)の復興を祈願。

TVで苦労する姿を見せていた、あのなすびがエベレストに登ることを見せることで、被災者も頑張れるとの思いから、「エベレスト登山」で福島・東北を支援することにした。

雪崩などの挫折に負けず、ようやく2016年4月、4度目の挑戦でエベレスト登頂を成功させ、命の危険も顧みず酸素マスクを外して山頂から福島に向けて復興へのエールを送った。

なすびさんの福島に対する強い郷土愛が語られた講演であった。(岩元)



なすびさん!
エベレスト登頂おめでとう!

キャリアデザイン講座

人生はあるものではなく作るもの ～たった一歩が人生を変える～

講師	株式会社那須旅 代表取締役社長 八木澤玲玖 氏
日程	平成30年9月7日
参加者	黒羽高等学校2年生 144名

キャリアデザインとは

高校生や大学生など若年者が、理想とする将来の自分を実現するため、どのような職業や働き方がふさわしいか考え目標設定を行うこと。そしてそれが、未来の地域リーダーの育成につながります。

講師は19歳の大学生

生徒の前にTシャツ姿で現れた八木澤玲玖君は、黒磯高校出身、現在東洋大学1年生。高校2年のときに起業を目指す学生対象の第4回アントレプレナーコンテストで最優秀賞を受賞。開業資金と社長育成への実践的支援を受け、高校3年の時、那須の観光に特化した「株式会社那須旅」を設立。学生社長として様々な活動をしながら、那須の魅力を世界に発信しています。

本当に叶えたい夢なら…

「那須の良いところは？那須のダメなところは？」その問いに会場はざわつきます。そして、生まれ育った那須を魅力ある地域にするため、自身の挑戦について話をします。「自分のやりたいことは？なりたい自分とは？」と生徒たちに問題提起しながら、その夢は本当に叶えたいのか、本気なら挑戦しなくちゃならない、学校も人生も楽しくするのは自分、人生はあるものではなく自分で作るものだと伝えました。

さあ、一歩を踏み出そう

若くて柔軟な感性を持った彼らがどのように反応し、那須から一歩を踏み出し成長していくか、期待が高まります。高校生に混じって「中高年世代」も講話を聴かせてもらい、彼らの伸びしろをうらやましく思いつつ、エネルギーを戴いた一時間でした。おじさん・おばさんも一歩を踏み出しましょう。(江馬)



生徒の感想

挑戦することの大切さ、失敗することの大切さを学んだ。自分のやりたいことは進んでやろうという気持ちになり、自信をもらった。

自分が甘えていることがわかりました。自分の全力で頑張ってみようと思いました。

人生というのは自分で変える事が大切なんだと感じました。だからこそ1日や時間を大切に使うつもりです。

編集後記

自宅から市新庁舎の工事を日々眺めている。大型クレーンの姿も消えて、もうすぐ完成だ。1階には市民協働フロアとして多様な市民活動に利用可能なホールや会議室などもできるらしい。どのように活用されるのか楽しみである。(岩元)

編集委員 (五十音順)

荒牧 孝道 岩元 利孝 江馬 久美
(故)栗原 敏子 藤沼 久子

長年にわたり、ばらんす編集委員として活動していただいた栗原敏子さんがご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

ばらんす掲示板

平成30年度 大田原市男女共同参画推進事業者表彰

市では、積極的に男女共同参画推進に取り組んでいる事業者を募集し、表彰いたします。

募集期間 平成30年11月1日(木)～30日(金)

市民力アップ講演会

期日 平成31年1月19日(土) 会場 那須野が原ハートモニーホール

内容 ① 大田原市男女共同参画推進事業者表彰
② 市民力アップ講演会

講師/菊池桃子氏(女優・戸板女子短期大学客員教授)
テーマ/多様性時代の学び方・働き方～豊かに輝く人生のヒント～

※表彰及び講演会の対象や応募方法等の詳細については、広報11月号に掲載しています。

お問い合わせ先: 政策推進課市民協働係 ☎23-8715